

R4 教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名 (図 画 工 作)

◎…優 ○…良 △…可 コメント可

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	改善状況
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想をもって楽しみながら作品づくりに取り組んでいる。さらに意欲的に取り組むことができる工夫が必要。 ・造形的な技能の向上のための指導が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の創意工夫や想像力を育むような導入、提示を工夫する。 ・例示したりアドバイスしたりして自分らしい表現を引き出す。 ・切る、貼る、折る、塗るなど様々な活動を多く取り入れ、道具の使用に慣れさせる。 ・作業時間を確保する。 	<p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・体全体の感覚を使う工夫をし、意欲をもたせることで感覚を耕し、造形活動を楽しませることができた。 ・個に応じた指導や時間的な保障。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想像が広がる声かけや提示の仕方を工夫し、伸び伸びと表現できるようにする。 ・例示したりアドバイスしたりして、自分らしい表現を引き出せるようにする。 ・作業の手順を明示する。 	<p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな材料と出合わせたらよいかの研究。 ・導入と言葉掛けの工夫。 ・関心・意欲は高いが、学習の基本的な習慣が十分身に付いていない。意欲が学習成果に結び付くような指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書の工夫、作業の手順を明示する。 ・造形の創造的な技能が身に付くような多様な道具の整備、材料の準備を進める。 ・作品展示に努め、児童相互の評価をより充実させ、制作意欲を高める。(全学年共通である。) 	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>○</p>
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく出合う材料にも興味をもって取り組む指導の研究。 ・自分のめあてをもって制作に取り組めるような導入、指導の工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想像が広がり、自分のめあてをもって活動できるような道具や材料の準備を進める。 ・意欲が持続するような言葉掛けと評価、鑑賞活動を充実させる。 	<p>◎</p> <p>○</p>
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなイメージをつくったり想像したりするような表現を促す導入の工夫や材料の工夫をすると意欲的に制作できた。 ・表現の内容や技能の個人差があるので指導・支援の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって取り組めるような教材・教具の活用と指導中の言葉掛けを考える。 ・評価、鑑賞活動を充実させる。 	<p>◎</p> <p>○</p>
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な道具と材料との出会いを考慮した題材の工夫。 ・達成感や充実感を強く求める一方で表現に消極的になる児童への対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを豊かにしていくため、写真や作品などを掲示しておく。 ・日常的な鑑賞活動ができるようにする。 ・これまでの学習を生かしながら児童の実態に即した課題設定をする。 	<p>◎</p> <p>○</p> <p>◎</p>